

平成 28 年 6 月 28 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2207)

英国の EU(欧州連合)脱退は我々にとって新たな機会と捉えている。
～タイThe Nation 紙 2016年6月28日掲載記事より～

当社の重要な子会社であります SET(タイ証券取引所)上場の Digital Finance 会社 Group Lease Public Company Limited(以下、「GL 社」といいます。)は、アセアン全域への事業展開を推進しておりますが、今回発生した英国の EU 脱退に関するタイThe Nation 紙の記事を翻訳いたしましたので、下記にその和訳をご紹介します。

(以下、タイThe Nation 紙の和訳)

2016年6月28日付

タイThe Nation 記事

Brexit seen as presenting new opportunities

英国の EU(欧州連合)脱退は我々にとって新たな機会と捉えている。

Group Lease (GL)は、イギリス有権者による EU 脱退の決断によるファイナンス市場の激しい混乱により買収先候補の価格が安くなればアセアン域内及び他の市場において更に積極的に M&A を行う意向である。昨日 27 日、GL 会長兼 CEO の此下益司氏は、「危機的な状況にいつもチャンスがある。財政的に我々は非常に強い。当社の DE レシオ(Debt Equity Ratio)はわずか 0.5 倍であり、新たに大きな資金調達を行うことができる。このような危機的な状況は我々にとっては大きなチャンスだ」と述べた。これまでも GL にはアセアン域内にあるファイナンス企業の買収案件のオファーが数多く寄せられたが、交渉は結論に達しなかった。単純に価格が高すぎたからだ。先週のイギリス国民投票による EU 脱退支持派勝利の知らせにより買収先候補の価格は下がっている。此下氏は中長期的に見て非常に大きな成長が見込めるインドネシア、ベトナム、スリランカなど巨大市場において同社の成功ビジネスモデルである「デジタルファイナンス」の展開を見据

えている。GL は以前のタイにおけるオートバイリースの会社から、ここ数年の間にカンボジアとラオスに進出、同社独自のデジタルファイナンスプラットフォームを開発し、そのプラットフォームでオートバイに加え、農機械、ソーラーパネル、白物家電などを販売し、ポートフォリオを大きく拡大させてきた。インドネシア進出は目前の状態にある。先週の GL 社臨時株主総会にて、170 百万個の新株予約権の発行が承認された。また同臨時総会において、同社の戦略パートナーである J Trust Asia(JTA)への 130 百万米ドル(46 億タイバーツ)を上限とした転換社債の発行も承認された。上記の新株予約権行使及び転換社債発行による資金は、現在同社が展開しているタイ、カンボジア、ラオスでの事業拡大に加え、東南アジアや他の国々への事業進出に使用される。

以上